

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1947
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.40, No.3 (1947. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19470301--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

戦争を契機とする平時経済より戦時経済への移行過程に於いて経済的均衡が破壊されて、過渡的混乱を生じ、又戦争経済の持つ跛行性乃至第三部門生産物の再生産過程よりの脱落より生ずる不均衡は、経済政策の如何によつて若干緩和されるものであると云へ、本質的には何等變化はない。資本主義國家に於いて全經濟上に占める金融の地位は非常に大きなものであるが、戦時に於いての重要性は尙更である。戦争中現實に生ずる金融現象は、國民經濟の發展段階、生活程度、國民性、戦争の性格等の複雑な要素が混在し作用して顯現するものであつて、其等諸要素の些細な變化にも敏感に反應する金融界は全國民經濟のパロメーターとなる。野村博士の日清戦争時代の金融分析は、單に金融界のみを考察に止らず、大局より之に臨み、當時の情勢を反省する上に極めて力あるものである。博士も指摘されてゐる様に、戦争の強い動因に眩惑されて其の惨禍を悟らなかつた所に國民の最大の過失が存在したのであつた。崩壊した戦後の日本經濟を再建する爲に經濟の民主化が叫ばれてゐる。擬制資本の打切、獨占禁止に伴ふ企業の新編成、勞資問題等、再建途上に幾多の難問が存在するが、小高教授の調査は、其の根本問題の一たる資本と經營の分離、勞資の對立を探り上げて、企業民主化への新しい課題を提起してゐる。資本主義經濟の自己矛盾たる利潤分配の問題を如何に解決すべきかは、過去に於いて又將來に於いて重要なものであるが、教授が勞働投資説と勞働創造説とを分析されてゐる事はこの問題の解決に有力な示唆を與へるものであらう。吾々は勞働運動が正しき發展をなし、其の成果が立派に結實する事を希ふものである。(松尾直方)

昭和二十一年十月二十五日印刷 第四十卷
昭和二十二年二月一日發行 第二二號

禁轉載

本號定價金 五圓
送料 三十錢
編輯者 高村象平
發行所 東京都芝區三田三丁目八番
印刷所 川口芳太郎
帝國印刷株式會社
印協會員東京一〇一

豫約購讀料

一年分 金六十圓
送料 金五圓

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい

誌代變更の場合は精算決済致します

編輯に關する用件は發行所へ

營業に關する用件、購讀申込は發賣所へ願ひます

發行所 東京都芝區三田三丁目八番慶應義塾大學經濟學部研究室內

慶應義塾經濟學會

日本出版協會會員B一〇一六

發行所 東京都芝區三田二丁目一

慶應出版株式會社

日本出版協會會員A一〇一〇一九

配給所 東京都神田區 日本出版配給株式會社

慶應義塾經濟學會

論說

大都市人口の規制……………奥井復太郎(一)

計畫經濟の一極限……………千種義人(二)

資料

南鍊二朱銀の流通について……………野村兼太郎(見)

貨幣經濟に於ける均衡の性質……………鈴木諒一(五)



三田學會雜誌

第四十卷 第三號